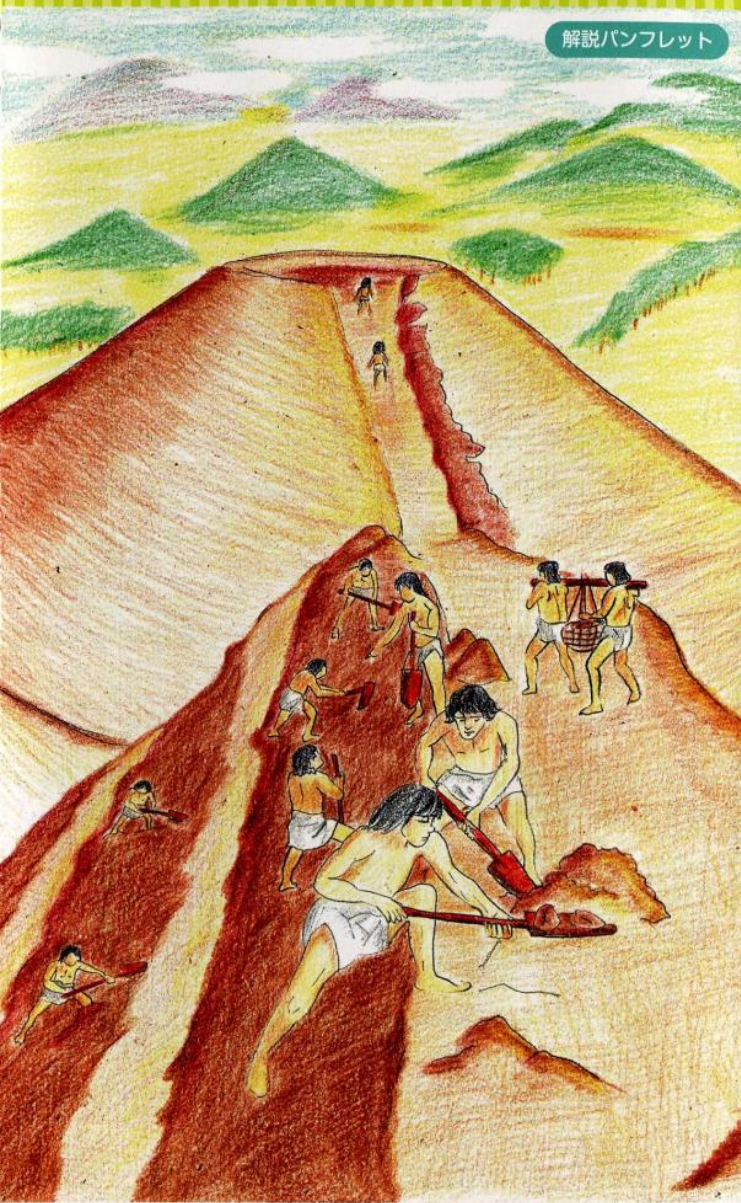


こんぼくやま・
いそべ・べざいてんこふんぐん
— 今北山・磯部・弁財天古墳群 —

解説パンフレット



今北山・磯部・弁財天古墳群保存会



古墳時代へタイムスリップ!!

こんぼくやま・いそべ・ べざいてんこふんぐん

1まん2せんねん とお むかし さばえ ひとびと く
1万2千年という遠い昔から鯖江には人々が暮らしていました。
じめん した やま うえ むかし はか う
た。地面の下や山の上には昔のムラやお墓がたくさん埋もれて
います。とくに「弥生時代」や「古墳時代」には、土を削り盛った
こふん よ はか きたなかやま かたかみ やま
た「古墳」と呼ばれるお墓がはやり、北中山や片上の山でもた
くさんの古墳が見つかっています。そのうち「今北山・磯部・弁
ざいてん こふんぐん たんなん ちいき だいひょう おお こふんぐん ちゅうもく
財天古墳群」は丹南地域を代表する大きな古墳群として注目さ
れています。この古墳群はいつごろ誰がどのようにして造った
のでしょうか。この謎についてご紹介しましょう。

こんなところに
古墳があったんだ！



こんぼくやま・いそべ・べざいてんこふんぐん ができるまで

1

へいわ ぐ へいわ
平和でおだやかな暮らし ~米作りと日本人~

実りの秋は
みんな
笑顔だね！



弥生時代の稲刈りの風景

いま ねん まえ たいりく にほんれつどう こめづく つた
今から2500年ほど前、大陸から日本列島に米作りが伝わりました。
きたなかやま かたがみ あき いま おな いなほ か と やよいじん
北中山や片上でも秋には今と同じように稲穂を刈り取る弥生人の
すがた み だれ し にほん のうそん げんふうけい
姿が見られたことでしょう。誰もが知っている日本の農村の原風景
でき じだい てつ どう きんそく つた
が出来つつあった時代でした。このころ鉄や銅などの金属も伝わ
じょうもんじだい つづ しゅりょうさいしゅう しゃがい おお か
り、縄文時代から続いてきた狩猟採集のおだやかな社会が大きく変
わろうとしていました。

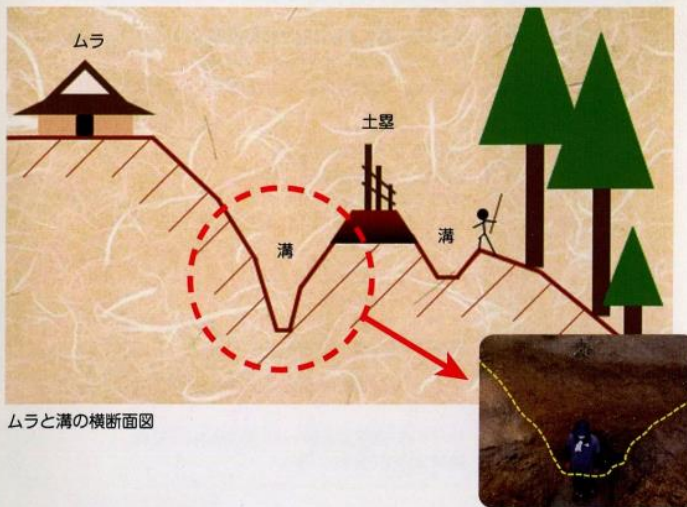
2

たたか いくさ
戦い。がやってきた ~高地性環壕集落の出現~

山の上に
ムラができる！



弁財天山に築かれたムラの風景



ムラと溝の横断面図

発掘調査された溝の断面



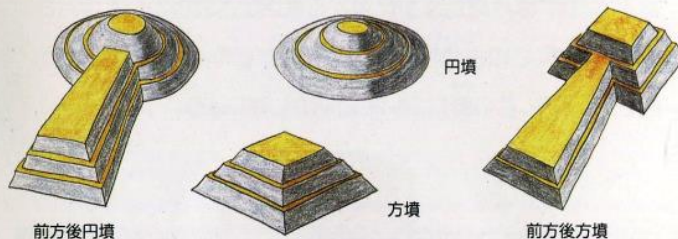
弥生時代の戦いの風景

ねん まえ み は べざいてんやま ちようじょう やよいじん
1900年ほど前になると見晴らしのよい弁財天山の頂上に弥生人た
ちは二重の溝をめぐるしたムラを造り始めます。長さ140m、幅40m
の広い範囲をめぐる溝はとても深く一度落ちるとはい上がれませ
ん。大土木工事を必要とする「城」のようなムラがきずかれた背景の
ひとつには、ムラどうしてお米を作るための水の取り合いがあったとみ
られ、話し合いでの解決が難しくなっていたことを示しています。考
ごがく こうちせいかんどうしゅうらく よ はっけん
古学ではこのようなムラを高地性環壕集落と呼び、この発見によっ
て弥生時代の福井県では大きな争いが起こっていたことがうかがえ
ます。

3

たんじょう きょだい こふん ものがた
「オウ」の誕生 ~巨大な古墳が物語るもの~

ねん まえ べざいてんやま つか い
1800年ほど前になると弁財天山のムラは使われなくなり、入れか
わるように古墳が造られるようになります。最初は5~15mほど
の小さなものばかりでしたが、やがて20mをこす大きなものがあ
らわれます。最終的に古墳群全体で70基ほどの古墳が造られまし
た。このことから、山は「住む場所」から「亡くなった人を葬る場
所」へ変化したことがわかります。



古墳の種類

よんせい きんぼくやま さんちよう おお ぜんぼうこうえんふん
4世紀になると今北山の山頂に大きな前方後円墳がつくられまし
た。長さは75mもあり、頂上には底のあいた不思議な形の壺が並
べられていたようです。同じ時期につくられた古墳としては北陸
地方で最大級のものともみられ、この丹南地域に大きな力を持った
人物がいたことがわかります。この頃の日本列島はヤマト政権が
統一をすすめており、政権に参加した各地の「オウ」は大王の墓と
同じ前方後円墳を造りました。このことから丹南地域もヤマト政
権に組み込まれたことがわかります。



築造最中の今北山古墳想像図

	時 代	おもなできごと
旧石器時代 縄文時代	3～4万年前	ナウマンゾウなどの狩りをして暮らす 日本列島が現在の形になる
	1万2千年前	サバエに最古の狩人があらわれる 狩りと漁、採集の生活が行われる 四方谷に木の実をさらす水場がつくられる ＜王山＞
	4000 ～3000年前	四方谷に木の実をさらす水場がつくられる ＜四方谷岩伏遺跡＞
弥生時代	2500年前	大陸から米作りが伝わる 大陸から金属器が伝わる サバエで銅鐸が使用される ＜新銅鐸＞
	2世紀	井財天山にムラ（高地性環壕集落）がつくられる ＜井財天古墳群＞ 井財天山から今北山にかけてたくさんのお墓（古墳） がつくられるようになる ＜今北山・磯部・井財天古墳群＞
	3世紀	卑弥呼が邪馬台国の女王になる
古墳時代	4世紀	今北山に大きな前方後円墳がつくられる ＜今北山古墳群＞
	6世紀	ヤマト政権の国内統一が全国的にすすむ 継体大王が誕生する



お問い合わせ

今北山・磯部・井財天古墳群保存会事務局

（鯖江市北中山公民館）

〒916-1115 福井県鯖江市落井町 41-33-1

TEL：0778-65-1001 FAX：0778-65-0832

e-mail: sc-cc-kitanakayama@city.sabae.fukui.jp

発行 今北山・磯部・井財天古墳群保存会

監修 鯖江市教育委員会文化課

印刷 （資）藤田印刷所